

A 春に

【目標】作者の思いを捉え、表現の特徴を生かしながら朗読しよう。

名前

三年 組 番

1 次の——線の平仮名は漢字に直して書き、漢字は読みを平仮名で書き込もう。

- | | | | |
|-------------|-----|------------|-----|
| ①はらから声を出す。 | () | ②むねが高鳴る。 | () |
| ③えだに鳥が留まる。 | () | ④友達の名前をよぶ。 | () |
| ⑤黙ったままうなずく。 | () | ⑥水が渦を巻く。 | () |

2 次の語句の意味を辞書で調べよう。

語句	意味
①よどむ	
②せめぎあう	
③もどかしい	

3 この詩を内容の上で三つに分けよう。題名を除いた行数を書こう。

- 第一のまとまり……第1行目～第()行目
 第二のまとまり……第()行目～第()行目
 第三のまとまり……第()行目～第()行目

4 この詩の中の表現の中で、最も気に入った表現とその理由を書こう。

・気に入った表現

・理由

5 「春に」の詩を朗読する際の工夫のしかたを考えてみよう。また、実際に朗読し合ってみよう。

A 握手

名前

三年 組 番

1 次の——線部の漢字の読み方を調べ、平仮名で（ ）に書き込もう。

①洗濯をする。	(	②やっかいな <u>代物</u> 。	(
③穏やかな天気。	(	④ <u>穏健</u> な人。	(
⑤鶏舎の掃除をする。	(	⑥爪を切る。	(
⑦土地を開墾する。	(	⑧サッカーの監督。	(
⑨帝国の支配者。	(	⑩泥だらけで遊ぶ。	(
⑪傲慢な態度。	(	⑫飼犬を <u>捜す</u> 。	(
⑬事件を <u>捜査</u> する。	(	⑭三つに分割する。	(
⑮冗談をいう。	(	⑯祖父の <u>遺言</u> 。	(
⑰姓名を記入する。	(	⑱もう一周忌になる。	(

2 次の語句の意味を辞書で調べよう。複数の意味がある場合は、「握手」での用法に近いものに○印を付けよう。↓対義語とあるものは、対義語も調べよう。

語 句	意 味
①達者	
②年季が入る	
③気前がいい	
④奇妙	
⑤こたえる	
⑥地道	
⑦いとまごい	
⑧平凡	↓対義語 ()

3 次の語句を使って短文を作ろう。

①精を出す	
②……(の)わりに	
③せわしい	
④むやみに	